



赤嶺 雅和 議員

農家の所得向上のために

問 政府がTPP交渉に参加するところを以て、日本の農業が壊滅的な状況に追いやられるのではないかと農家の皆さんは反対している。

現在本町はどのような目標が拠点産地として認定されているか。

町長 沖縄県は基幹産業のさとうきびがTPPに参加することで、深刻な状況になり、大きな打撃を被る。

経済建設部長 拠点産地として、野菜はJA南風原の「南風原かぼちゃ」、JA津嘉山の「ツカザン完熟カボチャ」、花卉ではストレリチアが認定を受けている。

問 熱帯果樹は拠点産地認定の取り組みをしているか。

経済建設部長 マンゴーは申請要件を満たしているが、個人販売が多く、一元化出荷が行えない状況である。スターフルーツは面積要件を満たしていない



拠点産地認定を目指すスターフルーツ

が、生産量は県内の8割を占める。平成22年度に設立した協議会を中心に認定に取り組んでいきたい。ドラゴンフルーツの取り組みはないが、要望があれば対応していく。

農産品の直売所を

問 ファーマーズマーケット計画は進んでいるか。

町長 農協の直売所は、JA南風原、津嘉山そして農家の願

であり、望んでいるものだと思います。県にJAの理事長も一緒になって強く要望している。

問 一括交付金を活用し、公共の直売所が設置できないか。

経済建設部長 JAのファーマーズマーケット計画があるため、公共直売所は計画していない。

特定健診で医療費抑制を

問 本町の医療費は年々増加しているが、特定健診や保健指導の実施で医療費は抑制されたか。また、今後検討している事業はあるか。

民生部長 特定健診や保健指導で医療費が抑制されたかを示すことはできないが高額な医療費の抑制に寄与していると考えます。

こんな質問もしました

・シルバー人材センターの設置を